

例会 NO 120

No 3- 34 1993.3.31 発行



1992~1993RIテーマ

まことの幸福は
人助けから

RI会長 クリフ・アクターマン

Tokyo
Green
Rotary Club

Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1992~1993年度クラブ目標 “地域を見つめよう……地域にロータリーの輪を……”

第120回例会報告(3/24)

司会 SAA 田中 實

☆点 鐘 会長 赤尾 恭雄

☆ロータリーソング 「それでこそロータリー」

リッパード SAA 吉沢 洋景

☆お客様紹介 会長 赤尾 恭雄

小島 光代様 (TBSナレーター)

須藤 松造様 (職業奉仕表彰者)

北村 操様 (北村会員、奥様)

副田 景子様 (R財団国際親善奨学生)

☆会務報告 会長 赤尾 恭雄

*派遣交換学生の募集について

R1第2750地区では、1994年3月(アメリカは8月)より1年間留学予定の派遣学生を募集する。地区内に在住及び地区内の高校在学の応募希望者または当クラブ関係者子弟の応募希望者があれば、当クラブにて面接等の資格審査のうえ地区へ推薦する。

募集要項は事務局にあるので申し出られたい。

(選考試験)一次:平成5年5月30日(日)

筆記試験・面接

二次:平成5年6月6日(日) 面接

合格発表:二次試験日当日

午後7時以降 電話連絡

合格証授与:平成5年6月19日(土)

☆幹事報告 幹事 遠藤 二郎

*国際ロータリー加盟認証状伝達式のご案内

○川崎マリンRC

日時:5月15日 会場:川崎市労働会館

登録:12:00 式典:13:00

* 例会臨時変更

・東京飛火野RC(火曜日例会)

4/6→4/7(水)日野RCとの合同花見例会

会場:高幡不動尊 点鐘:18:00

4/27→創立4周年記念式典例会に振替

会場:ホテルニューグランド八王子

☆次年度会務報告

次年度会長 横倉 舜三

次年度の委員会活動計画を作成するため、委員会を早急に開催の上北村次期幹事に今月一杯までに提出願います。

※ 小坂会員、ご尊父会葬御礼のご挨拶

☆委員会報告

★出席委員会 出席委員 城倉 正博

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本 日	46	35	2	9	80.43%
前 回	46	35	5	6	86.96%

[先週のメイクアップ]

松原 健 (3/19富士見RC)

中山順一郎 (3/23多摩RC)

高野 範城 (3/23多摩RC)

中山 恒武 (3/23日本橋RC)

〔欠席届出者〕 足立潤三郎、萩生田茂夫、
伊神 稔、内藤 實、中山順一郎、
佐伯 和廣、横倉 恒雄、飯島 裕美
〔欠席者〕 今井 正司

ニコニコBOX

北村 幸彦 小島様、シンガポールからようこそ、本日は卓話よろしくお願い申し上げます。

昨年のクリスマス・パーティーについて3月31日、18:30 からの花見例会の後 19:00から花見パーティーを開催致します。会費は一

今年度の活動方針として、地域住民の方で職業上の奉仕と業績があり、職業を通して社会に貢献した方を選考の結果、須藤松造様が決定致しましたので、今日ここに表彰致します。須藤様は多摩センター駅の自転車置場（約 3,000台）を雨の日も風の日も毎日整理を続けてこられました。



橋本 幸夫 宮本 誠



小坂 一郎

ロータリー財団の中に米山奨学事業団というのがありますが、これはロータリーを日本に初めて導入し、同時に東南アジアの恵まれない人、経済的に困っている人々、特に日本に学んでいる学業優秀な留学生に経済的援助を行っていた方が米山梅吉さんであり、これを永遠に続けて行こうということから、昭和28年東京のロータリークラブが提唱して、奨学事業を取り入れました。現在10月が米山月間ということで、東南アジアの学生に経済的援助を行っています。また言葉の不自由な点もありますので、カウンセラーの制度もございます。奨学金の寄付には、クラブの一人一人が定額1000円を寄付する普通寄付の他に、準米山功労者、米山ファンドフェロー等の特別寄付があります。因みに準米山功労者は3万円以上納めてそれが30万円を越えたら表彰されるという規定になっています。皆様のご奉仕が東南アジアの学生さん達の役に立っているということです。

また、送り出す方はロータリー財団ですが、迎える方は米山でやっているわけです。

====【卓 話】(3/17講演)=====

クローバー 大沢 ちず子様

皆さんこんにちは、私は大沢と申します。今日は3人お招きいただきありがとうございます。今日は耳の不自由な方がおりまして耳の不自由な方とのコミュニケーションを中心にしてお話したいと思ひます。

今私が手を動かしておりますが、手の動きと顔の表情、身体の動きなど全部ふくめて手話といいます。手の動きだけでは手話とはいわないのです。耳の不自由な方は顔の表情など大切なのは唇でそれを見ていただて理解してもらえます。このように手の動き、唇の動きを見て理解していただく聴覚障害者は多



摩市に300人ぐらいいます。身体障害者手帳を持っている人で2,000人ぐらい、手足の不自由な人が1,000人ぐらいで、手帳を持っていない障害者の人もいるということで実際にはもっといるということになります。耳の不自由な人は見ても分かりません。目の不自由な人は白い杖を持っているから分かりますが、耳の不自由な人は身体は丈夫なので見て分からないという面から困難もあるのです。

私達は一般には情報は目と耳から入り特に音声による情報は非常に多く、たとえば電車の中の放送は分からないのです。電光掲示板などもあります日本ではまだそういった配慮が十分ではありません。私達の少しばかりの気配りがあれば耳の不自由な方も暮らし易くなるのではないのでしょうか。私達が接する障害者の皆さんは耳の不自由な方、喋れない方がほとんどですが、一緒に活動したり、レクリエーションをしたりしています。私は耳の不自由な人と接して13年になり多摩市に来て10年になります。そんな関係で色んな大変さや、何をお手伝いすればよいか分かりかけてきました。先ず耳の不自由な大場さんからお願ひしたいことなどがありますので大場さんと替わります。

===== 大場 紀子様

皆さんこんにちは、私の名前は大場と申します。今日はお話する機会を与えていただきありがとうございます。

では、耳の不自由な者の立場からお話申し上げると共にお願いがござひます。耳の不自由な人のことをよく「つんぼ」とか「おし」とか言う人がおりますが、それは言わないでいただきたい。たとえば聴覚障害者あるいは耳の不自由な人と言っていたら。声をかけられても聞こえませんので話かける時は必ずそばにいて肩をたたいたりして目が合ってから話かけて下さい。めんどうだということ時々物など投げたりする人がいますがそういうことは止めていただきたい。話しかける時は口を大きく開けて



ゆっくりと喋って下さい。唇を見ているのでゆっくりと区切って話していただきたい。話して分からない時は紙に書いて伝えていただきたい。文章を書いていただく場合はなるべく短く、簡潔に区切って書いて下さい。又、耳の不自由な人は言葉がはっきりと話せる人、不明瞭な人、まったく話せない人もいますがこのことは個人の能力でなく聞こえなくなった年齢、学習、訓練の環境が調っていたかどうか深く関わっているのであって、知能には関係がないのです。ですから耳の不自由な人を特別視したり、無能力あつかいしたりしないでいただきたい。聞こえない、話せないというだけで他は皆さんと同じです。

教育の環境など不十分ですので知識も皆さんと違う場合があります。又必要な時は手話通訳を呼んでいただきたい。多摩市の場合は社会福祉協議会という所で依頼を受け付けています。緊急避難の時はタツノオトシゴのマークをつけて避難しているのでよろしく願います。避難場所などでお知らせがありましたら紙などに書いて知らせていただきたい。タツノオトシゴのマークは耳の不自由な聴覚障害者のシンボルマークになっています。

タツノオトシゴは耳で音を聞かないということらしくこれは全国的に障害者のマークになっています。

それでは皆さんに簡単な手話を紹介したいと思います。まず「こんにちば」ですが、指は人指し指と中指ですね。顔が時計と思って下さい。お昼ですので顔の所に短針と長身が重なったということ、人を表すこんにちばと顔をさげている様子です。口もいっしょにお願いします。次は「おはようございます」です。右手で枕をはずす状態を表しおはようございますとします。皆さん男はどうやりますか？これは手話も同じです。次は社長さんですが、これはこめかみの横でチョキを振りまして男を上げます。下ろしてはいけません。

こめかみの横でチョキを振っているのは会社という意味です。これは株の取引をやっている姿に似ている所からきているといわれています。次に「御苦労様」という手話ですが、右でも左でも結構なんですが、ごくろうという手話と、ありがとうという手話を組み合せます。ありがとうという手話は相撲の手刀を切る姿が基になっています。少し頭を下げていただくと良いですね。手と身体と表情と口の動きと全部を使って手話ですので少し頭を下げて下さい。次は「さようなら」です。皆さん分かると思いますが皆さんがやっているのと同じです。「又お会いしましょう」人指し指と人指し指をつけるように近づけます。指と指はくっつけないで向き合ってください。

「おげんきですか」身体を一回りします。身体を一回りして元気という手話をつけます。右の手の動きは、質問という意味で用いているということになります。

これで手話の勉強は終わらせていただきます。最近テレビで手話通訳つきのテレビ番組を御覧になった方もおられると思います。又御家族で耳の不自由な方もおられると思います。耳の不自由な人も皆さん立派にやっております。耳の不自由な人の就職率もよくなりましたが、まだ断られるケースが多いようで面接もなかなかむずかしいという状態ですので、ぜひ希望の人がおりましたら合ってやって下さい。一般の人は指文字といってもむずかしいので紙に書いて話をしてほしいと思います。耳の不自由な人は小さい時から聾学校などで唇の動きを読み取る訓練をしておりますので向き合っていただければ口の動きでわかります。唇は読んでおりますので聞こえないからと思っていますとキズついたりしてしまいます。お話しするときは唇の見える位置で話をして下さい。少しでも理解者が増えていけば障害者のくらしがスムーズに出来るようになるのではないかと思います。



東京多摩グリーンロータリークラブ

会長：赤尾恭雄
幹事：遠藤二郎
会報委員長：奥田文夫

副委員長：津守弘範・委員：北村幸彦
杉田 誠・佐伯和廣・隅 耕造
小島周二郎

事務局：東京都多摩市落合547
多摩センタービル7F
TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

※例会場 多摩そごうデパート7F サファイヤ/ソングットルーム

※例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30